

無所属の会 明石 孝利 議員

指定管理者制度と災害対応について

(質問) 来年4月には鈴鹿市の公共施設の管理運営について指定管理者と協定を締結し、5年間委託するが、その施設には本市の地域防災計画において、災害時における避難者の収容避難所や福祉避難所、緊急避難所からボランティアの受け入れのための災害ボランティアセンターの設置場所なども含まれている。昨年の熊本地震において、熊本市の指定管

理協定書に災害時での対応の特記事項がなく、避難場所などで管理運営に混乱を招いた事実を踏まえ、その教訓を活かし、これから本市が締結する指定管理協定書に、災害時での特記事項、あるいは本協定とは別に、災害時協定を締結すべきであると考えているが、如何か。

(答弁) 施設毎に災害時での役割を具体的に検討し、指定管理者と防災協定等の締結を念頭に協議を進めていきたいと考えている。

その他の質問 ○ふれあいセンターの運営等について

市民クラブ 大西 克美 議員

南海トラフ減災の消防力強化について

(質問) 火災現場において、延焼を避けるために隣接用防火シートを設置してはどうか。

(答弁) 火災時の1,000℃を超える高温に耐える隣接用防火シートは開発されていないが、本市ではウォーターカーテンホースを一部保有している。

隣接住宅に延焼することを避けるための手段として隣接用防火シートと同等の効果を発

揮するものと考え、大規模火災時における対策として、ウォーターカーテンホースの整備の拡大を検討していく。



ウォーターカーテンホース

自由民主党 鈴鹿市議団 矢野 仁志 議員

大木中学建て替え早期実現にむけて

(質問) 大木中学校の測量や登記について今後どのように処理していくのか。大木中学校改築に向け、1万人を超える署名もあり、積極的な事業展開を要望する。

(答弁) 法務局備え付けの公図上に、大木中学校の敷地内に地番のついていない、通称「赤道」や「青水路」と呼ばれるものが30本程度記載されている。測量や登記業務を専門の事

業者に依頼するなど、迅速に進めていきたいと考えているが、それぞれの物件について現地での立会い調査などに多くの時間がかかり、完了までに1年程度必要と考えている。

12月の市議会全員協議会において、学校規模の適正化・適正配置に関する基本方針案の協議を予定しており、平成30年1月から2月にかけて、パブリックコメントを実施し、3月初めには「学校規模適正化検討委員会」での最終的な審議結果を答申いただく予定である。

※一般質問（要旨）では質問時の会派を記載しております。

意見書の送付について

地方公共団体の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめた文書です。

本市議会は次の2件の意見書を可決し、それぞれ下記のとおり送付しました。

○防災対策の充実を求める意見書

送付先：内閣総理大臣 文部科学大臣 衆議院議長 参議院議長

○自動車損害賠償保険特別会計の繰戻しに関する意見書

送付先：内閣総理大臣 財務大臣 国土交通大臣 衆議院議長 参議院議長